



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和4年4月13日(水)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

令和4年度 第76回入学式が挙行されました。

あいにくの空模様でしたが、やわらかな春の温かさを感じながら、北九州市立尾倉中学校第76回入学式が4月11日(月)本校体育館で行われました。(新入生が解散になったとたん、雨が降り出しましたね。正門での写真撮影は大丈夫でしたか?)

新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんは、小学6年生として、それぞれの小学校で、小学校生活の最後の1年間を頑張ったと思います。今からは尾倉中学校の生徒となりますが、みなさんは何も心配する必要はありません。尾倉中学校の先生方は、中学校3年間ではなく、義務教育9年間の最後の3年間として、皆さんを愛情をもって指導します。まだまだ新型コロナウイルスの心配は続きますが、中学生として自覚をもち、いろいろなことにチャレンジしてください。

【令和4年度 北九州市立尾倉中学校 第76回入学式 学校長式辞】

うららかな春の光の中、色とりどりの花が咲き誇る季節を迎えました。本日ここに、ご多用の中、本校PTA会長 小森 香範(よしのり) 様、北九州市立皿倉小学校校長 森永 勇芽(もりなが ゆめ) 様をはじめ、保護者の皆様にご臨席いただき、令和4年度第76回北九州市立尾倉中学校入学式が挙行できますことを、心から感謝申し上げます。

67名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本日それぞれに新しい希望に胸ふくらませて尾倉中学校の校門をくぐったことと思います。今、緊張している姿と引き締まった表情を見て、今日から始まる中学校生活に向けての意気込みが伝わってきます。これから、どんな成長を見せてくれるのか、皆さんの活躍が楽しみです。

さて、新入生の皆さんに、覚えてほしいことがあります。それは、尾倉中学校の学校生活スローガンである『規律・感謝・情熱』という言葉です。「規律」とは、挨拶や掃除、時間、宿題、学校の決まりを守ることなど当たり前のことが当たり前にできるということです。「感謝」とは、思いやりです。いじめをしない、許さない強い意志をもち、そばで困っている人がいたら、勇気をもって手を差し伸べることです。一人一人の友達、家族、地域の方々を大切にしてください。「情熱」とは、一時間一時間の授業を大切に一生懸命受けるということです。尾倉中学校の生徒としての自覚と誇りを持ち、学校行事や部活動、生徒会活動などに全力で取り組んでください。

今日も2年生、3年生がみなさんの入学を祝い、入学式の受付や誘導をしました。本校の生徒は、どこに出しても誇れるすばらしい生徒達ばかりです。尾倉中学校は、相手を思いやる挨拶、は

きりと自己主張できる返事、そして生徒全員が団結できる、抜群の集団の力が備わっています。

では、どうしてこのような力を身に付けていくことが、大事なのでしょうか。それは、中学校は小学校と違い、3年後には自分の道を進んでいかなければならないからです。3年後の自分の進む道は、10年後、20年後の自分の人生とも大きく関係しています。中学校では、将来を見据えながら、学習内容や礼儀を身に付けるために自分を鍛える必要があります。夢や目標を実現するためには、今日から、「自分ができること」、「自分にしかできないこと」を考え、そのために小さな目標を立てて、実行してください。尾倉中学校の先生方は、皆さん一人一人に寄り添い、また、厳しく、優しく、愛情をもって支えていきます。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。本日、中学校の制服に身を包み、緊張した表情で入学する姿を見て、感慨もひとしおのことと存じます。本日より、3年間大切なお子様をお預かりいたします。お子様一人一人が社会に貢献できる立派な人間へと成長していくために、学校と家庭がしっかり連携し、地域の方々のご支援をいただきながら、教育を推進してまいりますので、ご協力、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

また、令和4年度より尾倉中学校、皿倉小学校が北九州市小中一貫・連携教育モデル校に指定されました。この事業は、学力向上、体力向上、小中ギャップの解消など、中学校区の状況を踏まえた教育目標と9年間で目指す子どもの姿を設定し、小・中学校が義務教育9年間の教育課程や教育活動を一体的に捉えて指導・支援を実施するものです。具体的な取組内容については、学校通信やホームページなどで発信してまいります。

最後に、これから始まる尾倉中学校三年間の学びを通して、新入生の皆さんが「思いやりのある温かい心」で人に接し、「自分を律する厳しい心」で自分を反省することができる、凛とした人間に成長することを願い、式辞といたします。

令和4年 4月11日 北九州市立尾倉中学校 校長 栗原博巳

保護者の皆様におかれましては、これから始まろうとしている義務教育の後半、仕上げの3年間の中学校生活がお子様にとってどのようなものなるのか、いろいろと想像し、期待と不安が入り混じっていることと思います。本校の現状や様子につきましては、実際にご覧になられたり、お知り合いの方からお聞きになられたりされて、それぞれ印象や感想をおもちのことと思います。しかし、たとえ、上のお子様にも尾倉中生や昨今の卒業生がいたとしても、これからの3年間はまた大きく違ったものになります。特に、ここ2年間、新型コロナウイルスの影響により、多くの行事が中止や延期、縮小となりました。この先の3年間も、まだ誰にも分からない状況であります。しかしながら、本校の教職員は学習指導をはじめ、様々な働きかけを行いました。生徒も、学級・学年活動や行事に目標をもって取り組み、非常に高い教育効果を発揮いたしました。ぜひ、本校の教育活動についての理解を深めていただければ幸いです。